

アトリエぱお芸大美大美術系高校受験科

2023年度授業週数など変更のお知らせ

日頃よりアトリエぱお造形教育研究所・芸大美大美術系高校受験科の運営に御協力賜り誠にありがとうございます。
新年度の授業週数変更等についてお知らせします。

【授業単位時間】

授業の単位は3.5時間のまま変わりません。

実は国内のほとんどの美術予備校は1単位が3時間ですが、ぱおでは学習効果を考え敢えて30分長い3.5時間に行っています。1単位あたり30分とはいえ、3時間授業と比べると年間で16.7%長くなり、他校での学びよりニヶ月分長く学ぶのに相当します。

【年間正規授業週数】

年間の正規授業の週数は2022年度までは年間40週でしたが、

2023年度から38週に改めさせていただきます。* その理由は後述します。

なお美大受験最大手の東京のすいどうばた美術研究所は年間35週、広島のYMCA美術研究所は37週ですから、ぱおの優位性は変わりません。

【受講料】

授業料は各学期ごとの授業週数の違いから分納額の変化がありますが**2022年度とほぼ同額**です。

* 年間授業数の変更について

昨今の物価の高騰は特に画材関連で顕著で最大56%値上がりした木炭紙はじめ、10~15%も値上がりし、今年に入ってからまた値上げが予定されています。公共料金、光熱費、モチーフなどの物品や公共サービスなどの値上げまで、アトリエの運営にも多大な影響を及ぼしています。ある程度は企業努力により吸収する所存ですが、最低でも5%ほどの値上げをせざるを得ない状況です。しかし国全体が物価高に苦しむ状況と、当アトリエは大幅な物価高騰の前の22年春に価格改定したばかりであることを鑑み、我々の都合で会員の皆様に負担増を強いることは心苦しい思いもあります。そこで何とか授業料値上げの回避はできないかと考えた末、40週の授業週数を2週短縮することで、授業料値上げを回避することとしました。以上のような状況を踏まえこの度の授業週数変更への御理解御協力を賜りたく御願ひ申し上げます。

なお授業回数の減少による学習の遅延をご心配される方は、不足と思われる授業単位を春夏秋の各講習会や3学期をサブスクリプションにて十分に受講していただくことをお勧めします。

授業内容としてはさらに基礎の徹底、変化する入試傾向への対応、総合力をつけるための様々な実習、自由表現で自己の創作姿勢と向き合い、プロジェクト参加で美術の社会的な役割を学ぶ機会を創出して総合型入試にも対応できるようにしつつ、入試問題の対策を効果的に学びます。

新年度指導方針や実習・運営の説明会、および個別相談会の開催日程(複数回)については後日改めてご案内します。

今後とも芸大美大美術系高校受験科の運営に御理解御協力をよろしく御願ひいたします。

2023年2月1日

アトリエぱお造形教育研究所

代表 加藤宇章

082-271-0870 / pao@a-pao.com